

給食だより

No.45

令和5年10月

帯広信楽苑

給食部門 発行

ハロウィンってなあに？

今やすっかり日本に定着したハロウインのイベント。でも、ハロウィンってどんな日なの？と聞かれると「みんなで仮装する」、「カボチャのお化けがイメージキャラクター」くらいのもの。2つのポイントをおさえれば、あなたもハロウィンマスターになれるかも。



●1つ目のポイント「毎年10月31日は亡くなった人の霊がこの世へ帰ってくる日」

そもそもハロウィンを行う10月31日とは一体何の日なのでしょう？

この日はヨーロッパの古代ケルト人が秋の収穫祭を行っていた日で

す。ケルト人にとって一年の終わりと考えられていました。

今の日本で言う大晦日ですね。冬の始まりとも捉えられていたこの日

は、死者の霊や魂が家族の元を訪ねて来ると信じられていました。

日本で言う「お盆」と似たような感じですが、お盆と決定的に違うところ

ろは、先祖の霊だけではなくそれと一緒に悪霊や魔物、魔女と

いったお化けたちも一緒にこの世へ出てきてしまうというところです。

悪いオバケが家にやってきたら困りませんか？とっても困りますよね！そんな

訳で古代ケルトの人々はそれぞれの家庭で魔除けの仮面を被り、魔除

けのたき火を焚いていました。

神聖な火によって、悪霊を追い払うための儀式を行っていたのです。



●2つ目のポイント「ジャック・オー・ランタンが誕生した理由とハロウィンでの役割」

「ジャック・オー・ランタン」とは・・・

昔々、卑怯で嘘つきの一人の男がいました。彼は生きている時に卑怯な手を使って悪魔までもを騙し、「死んでも地獄に落ちないこと」を約束させました。

やがて歳をとって死んだその男は死者の門へ行ったが、生前善い行いをしていないため天国へも地獄へも行けず、ただただ暗い闇の中を永遠



に彷徨うことに。そんな男の様子を見て、悪魔は哀れみ、地獄で燃え盛る火の中から石炭を一つ取り、それを男にあげたのです。男はそばにあったカブをくり抜いてその石炭を中に入れてランタン(ちょうちん)を作り、それに憑依しました。

ランタンの火のお化けとなって今も暗闇を彷徨い続けているのです。

ジャック・オー・ランタンは、ハロウィンの時に限っては中に魔除けの炎を灯した「**悪魔たちを追い払うランタン**」という役割を与えられた訳です。

「人々が魔物に仮装して逆に悪霊たちを驚かせて退散させる」ということから、みんなで楽しむ仮装して南瓜のおばけ(ランタン作り等)を飾る行事に変化してきたということです。



10月の行事

10/24(火) おやつ提供(柿の蒸しパン)



10/27(金) セレクトメニュー **A** or **B**

A:すき焼井 / B:メバルの山椒焼

10/31(火) ハロウィン(南瓜プリン)

